

## 活動報告・取材記事

### くすりを上手に使うために

アステラス製薬株式会社  
会長 野木森 雅郁  
(くらしとバイオプラザ21理事)



多くの人に病気のこともっとよく知っていただくこと、くすりのこともっとよく知っていただくこと。このことはとても重要です。なぜなら、くすりにはそのくすりそのものと同じくらい、いや、もっと大切なものとしてくすりについての情報があるからです。

新薬の開発には10年以上の月日と莫大な開発費用がかかります。製薬会社では有効物質を見つけたあと、その有効成分をどのように加工し、どのような使い方をしたらいいか試行錯誤をしながらデータを積み上げ、実際発売されたあとのベストな使い方(ノウハウ)を開発過程で作りに上げて行きます。したがって、新薬は物質としての製品そのものに加え、最大限効果を発揮する使い方についての膨大な情報が表裏一体となってはじめて完成されるということも過言ではありません。また、近年、テイラーメイド・メディスンといって患者さん個々の特性を考えて使うくすりが実際に使われるようになって来たことから患者さん一人ひとりに適切な治療法・医薬品を選択することが一層重要になって来ました。そのためには患者さん、お医者さんはじめ広く医療関係者がくすりの有効性、副作用リスク、治療コストなどさまざまな情報を正しく理解し、医薬品が正しく使用されることが益々求められて来ています。

日本の製薬企業は「くすりの適正使用協議会」と協力してそれぞれ個別の製品毎に「くすりのしおり」を作り、患者さんにくすりのことをよく知った上で正しく使っていただく取り組みを行っています。また、「くらしとバイオプラザ21」では「くすりの適正使用協議会」と一緒に「くすりの副作用」について分かり易く解説した冊子を作っています。広く患者さんがこのような情報を利用していただき、くすりをもっと上手に、適切にお使いいただくこと、これが私達の願いでもあります。くすりの価値、それを本当に活かすのは情報に裏打ちされた適正な使用方法ですから。



### NPO法人くらしとバイオプラザ21 第11回年次総会 ご案内

2013年5月16日(木) 15:30~16:30(予定) 於 銀座フェニックスプラザ  
「健康食品をめぐる幾つかの問題」

鈴鹿医療科学大学医療栄養学科教授 日本食品安全協会理事長 長村 洋一 先生

長村洋一先生は、鈴鹿医療科学大学医療栄養学科教授に兼ねて、日本食品安全協会理事長として健康食品管理士の認定事業を行っておられ、食と健康の問題を市民にわかりやすく語る啓発活動の第一人者です。ご著書は、『健康食品ポケットマニュアル』(日本食品安全協会)、『臨床化学』(講談社)、『イラスト生化学入門』(東京教学舎)等。どうぞ、ご参加ください。

<参加お申込み/お問い合わせ> NPO法人 くらしとバイオプラザ21  
Tel 03-5651-5810 Fax 03-3669-7810 E-mail bio@life-bio.or.jp

## 2012年11月13日 第7回コンシューマーズカフェ

### 「フーコムネット設立から1年余～科学的な食情報を消費者に届ける苦闘を振り返る」



一般社団法人Food Communication Compassを立ち上げられた松永和紀さんから、「食にまつわる科学情報をどう伝えたらよいか」、「新しい消費者運動を創出すべきなのか」、「どのように運動をしたらよいか」について、お話をうかがいました。

食の関係者だけではなく、研究者、コミュニケーション関係者、院生、いろいろな方が参加し、同サイトへの期待や応援が語り合われました。

FOOCOM.NET <http://www.foocom.net/>



## 2012年10月30日 高崎量子応用研究所バス見学レポート

公益財団法人日本科学協会と共催で、くらしとバイオプラザ21にとって、長い間の夢であった(独)日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所へのバス見学会が実現しました。

マイクロビーム細胞照射研究グループリーダー小林泰彦さんからご講演「食品と放射線～食品の放射性汚染の健康影響から生レバーの放射線殺菌まで」をうかがったり、施設の見学をしたりしました。お昼のだるま弁当も好評でした。学生、行政官、研究者、生協関係者、ジャーナリスト、一般市民など33名が参加し、充実した一日となりました。



## 2012年9月29日 第7回ヒトゲノムを使った実験教室「私たちのDNA」



東京農工大学遺伝子実験施設、個人遺伝情報取扱協議会、バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社共催、東京テクニカルカレッジ協力による第7回は、ヒトに特徴的な16番染色体のPV92部位におけるAlu配列の有無を分析しました。第6回まではアルコール代謝に関係があるALDH2という酵素の遺伝子について調べてきましたので、この配列を扱った実験は初めてでした。

東京テクニカルカレッジの大藤道衛先生と個人遺伝情報取扱協議会の小林裕次先生のお話をうかがったり、丹生谷博先生にラボツアーのガイドをして頂いたりしました。

## 2012年12月2日 ワークショップ「野菜からのDNA粗抽出実験に何を学ぶのか」

日本サイエンスコミュニケーション協会(JASC)第1回年会在、お茶の水女子大学で開かれました。くらしとバイオプラザ21は、年会企画としてワークショップ「野菜からのDNA粗抽出実験に何を学ぶのか」を開きました。科学館関係者、天文・数学専門家、教員、サイエンスコミュニケーター、実験教室を行う市民グループなどが参加し、手を動かして実験しました。実験後には、都立新宿高校の佐藤由紀夫先生からDNAなどについてわかりやすいお話をいただき、実験で観察された「白いモヤモヤ」とDNAをどう考えるか、全員で話し合いました。





2012年9月14日 茅場町カフェ サン茶房  
 東京大学名誉教授 高橋迪雄さん  
 「健康食品の現代的意義～  
 ヒトと人のミスマッチを埋める」



10月12日 茅場町カフェ サン茶房  
 進化生物学研究所 蝦名元さん  
 「『すごい!! 何これ!!?』を引き出す  
 魚の透明標本の活用」



11月3日 千葉県立現代産業科学館  
 農業生物資源研究所 黄川田隆洋さん  
 「宇宙でも死なない生物っているの? ネムリユスリカ  
 の不思議な世界」



11月9日 茅場町カフェ サン茶房  
 ノボザイムズ ジャパン(株)  
 レギュラトリーマネージャー 橋田みよ子さん  
 「こんなにも働く酵素?」



2013年1月11日 茅場町カフェ くらしとバイオ21事務所  
 理化学研究所/基幹研究部 立田由里子さん  
 「甘いだけではない糖(鎖)～糖鎖は病気をみつける  
 サインとなるのか」



2月8日 茅場町カフェ サン茶房  
 日本たばこ産業(株)経営企画部  
 小鞠敏彦さん  
 「ご存知ですか?日本の技術が遺伝子組換え  
 トウモロコシを牽引していること」

バイオカフェからのお知らせ

バイオカフェは事前申込みは不要です。どうぞお誘い合わせのうえ、お気楽においで下さい。  
 音楽演奏、手づくりケーキでお待ちしています (会場により事前申込みが必要であったり、  
 参加費が異なったりします。  
 詳細はHP <http://www.life-bio.or.jp/biocafe/>をご覧ください)

これからのバイオカフェと  
 実験教室



- 4月12日 茅場町カフェ サン茶房 「肝斑(かんぱん)改善薬開発物語～お肌のシミの救世主」
- 5月24日 TTC(東京テクニカルカレッジ)バイオカフェ 「世界植物デーの一環として」
- 6月14日 茅場町カフェ サン茶房 詳細未定
- 7月12日 茅場町カフェ くらしとバイオ21事務所  
 「わくわくビールセミナー～ビールの造り方とその科学」
- 8月4日 親子バイオ実験教室 於 千葉現代産業科学館

この他にも、実験教室や拡大談話会(コンシューマーズカフェ)も開きます。参加をお待ちしています。  
 詳細は、ホームページをご覧ください。 <http://www.life-bio.or.jp/biocafe/index.html>

## 冊子「知っておきたいこと～遺伝子組換え作物・食品」

筑波大学形質転換植物デザイン研究拠点共同研究として2011年3月に完成した「メディアの方に知っていただきたいこと～遺伝子組換え作物・食品」は、ご協賛によって増刷したりしましたが、ほぼすべて配布いたしました。メディアの方ばかりでなく、大学や高等学校の教材、生協における検討資料、見学会やシンポジウムの参考資料として、広くご活用いただきました。ホームページからのダウンロードは今も続いています。http://www.life-bio.or.jp/topics/topics461.html  
 利用された方たちから、こういう情報は消費者、行政、メーカーなどいろいろな人たちにも必要！という声に励まされ、再び共同研究として改訂版「知っておきたいこと」をつくりました。  
 ホームページで公開します。教材などご利用になりたい方はご相談ください。

知っておきたいこと  
 遺伝子組換え作物・食品

2013年2月



NPO法人 くらしとバイオプラザ21

### 取材報告 2012年9月～2013年2月

9月23日 食の安全安心財団主催：「食と放射能を考える意見交換会inふくしま」  
 於 ビッグパレットふくしま(福島 郡山)

10月17日 食の安全安心財団主催：「食の安全を考える～浅漬けによる食中毒問題の教訓」  
 於ACU会議室(北海道 札幌)

### 講師派遣 2012年9月～2013年3月

- 1) 山口大学農芸化学四国支部「市民フォーラム」9月22日 各50名
- 2) 神奈川工科大学講演「科学カフェ」9月24日、12月17日 スカラシップ特別講座科学カフェ 各40名
- 3) 山梨県消費生活安全課「食の安全安心を考える集い」  
 韮崎会場 11月15日、富士吉田会場 12月20日 各100名
- 1) 消費者庁「新食品表示制度」意見交換会 11月22日
- 5) 名古屋大学 B人セミナー 12月1日 10名
- 6) 名古屋あいち男女共同参画財団「キッチンサイエンス」2013年2月23日 30名
- 7) お茶の水大学知の市場 年次大会 2013年2月7日

事務局より



### 入会案内

バイオに興味のある方、意見をお持ちの方は協会員に入りませんか!!当NPO が主催するイベントの案内、発行図書などをお送りします。一緒に活動しましょう!!年会費は一口2,000円です。お問い合わせは、下記の電話またはFAXでお願いします。

### 編集後記

2012年度はバイオカフェ、親子バイオ教室、コンシューマーズカフェなどを継続すると同時に、被災地での実験教室開催、日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所へのバス見学会実施、日本サイエンスコミュニケーション協会第1回年会への参加など、新しい活動を行うことができました。年度末を迎えた今、設立から10年間、変わることなく、私たちは皆様にお支えいただいていたことへの感謝の思いを新たにしております。ありがとうございました。

NPO法人 くらしとバイオプラザ21

http://www.life-bio.or.jp

編集 佐々義子・二瓶美郷

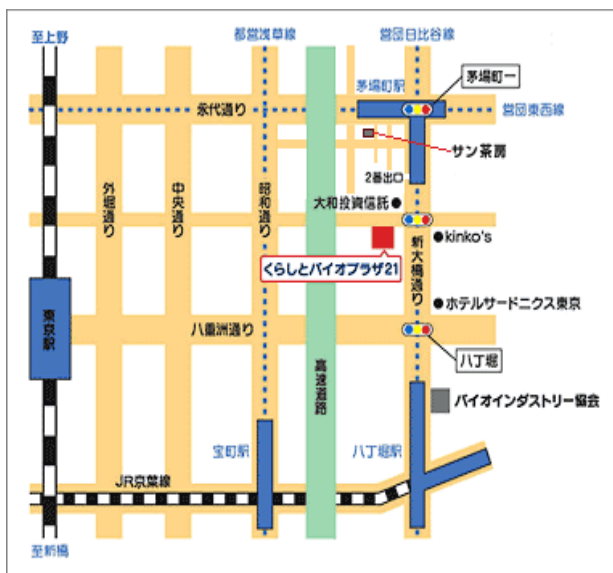
カット 中村典子

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3-5-3 鈴屋ビル8階

電話：03-5651-5810 FAX：03-3669-7810

e-mail: bio@life-bio.or.jp



●地下鉄:東西線・日比谷線「茅場町駅」2番出口 徒歩1分